はとほーむ

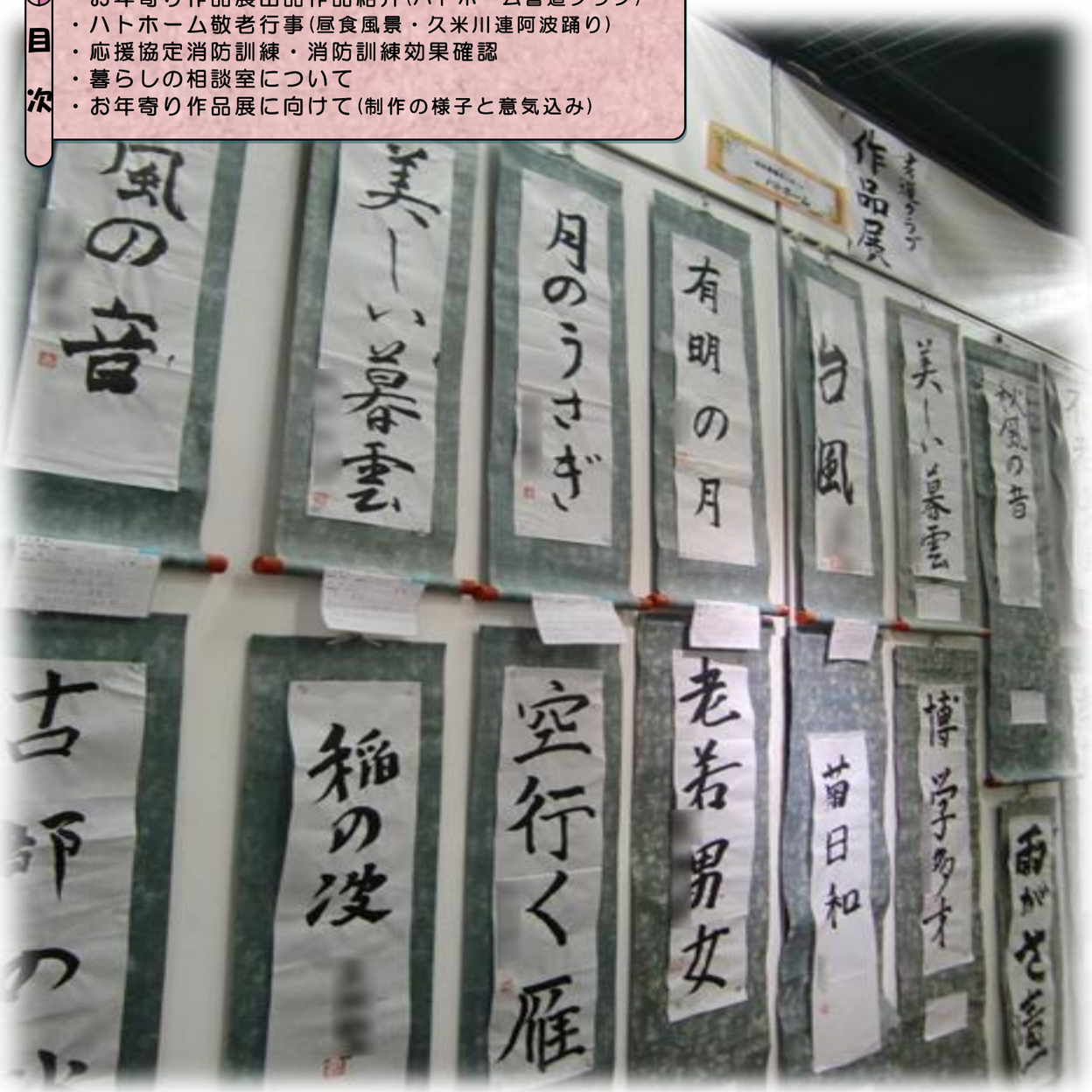
村山苑

愛ある平和な施設のための情報誌

第 51 号

目次

・お年寄り作品展出品作品紹介(ハトホーム書道クラブ)
・ハトホーム敬老行事(昼食風景・久米川連阿波踊り)
・応援協定消防訓練・消防訓練効果確認
・暮らしの相談室について
・お年寄り作品展に向けて(制作の様子と意気込み)



認知症サポーター養成校座

サポーターの証 “オレンジリング”

十一月二十四日、近隣住民の皆様を対象に村山苑が主催する「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

四回目となる今回は、これまで外部の方に依頼していた講師を、講師になるために必要な「キャラバンメイト」の講習会に参加したハトホームの職員が務め、参加した十八名と共に真剣な講座となりました。

恒例となっている脳活性化プログラムの体験も好評で「このようなイベントがあればまた呼んでください」とのお声を頂きました。

南館MEMORIES 第2回

来年の九月頃、南館が建て替えになります。このコーナーも二回目です。今回は、プレイコートにある謎の柱を紹介します！

前回号で紹介したプレイコートは、現在はあまり活用されておりませんが、昔は職員間でバレーボールやラジオ体操等レクリエーションでも活用していたとの事でした。そして、この柱ですが、よくみて見るとなんと、木でできている電柱でした。

ベテラン職員に話を聞いたところ、当時このプレイコートにて納涼祭を行い、その際に提燈を点灯するための電気を供給していたとの事でした。

またひとつ、築五十年以上の南館の歴史に触れる事ができました。

●平成 33 年度　新施設オープン
（31 年 9 月より 2 施設分割運営開始）

オープンに向け、スタッフを募集しています。
介護・看護等、すぐに働ける方大歓迎です。
お気軽にお問い合わせください。
☎042-393-8496（法人本部採用担当まで）

ギャラリースペースのご案内

ハトホーム１階に、地域の皆様の絵画や写真などの作品を展示させていただいております。お気軽にお越しください。

作品展示のお問い合わせ先
☎042-393-7574（担当者まで）

本文デザイン　ハトホーム広報委員
発　　行　社会福祉法人　村山苑
　　特別養護老人ホーム　ハトホーム
〒１８９－００２４
東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
E-mail　hatohome@murayamaen.or.jp
発行人　畠山　千春
編　集　ハトホーム広報委員会
2018 年 11 月末日　発行
※ホームページも随時更新しています。
https://www.murayamaen.or.jp/hatohome/

※個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ、写真・作品を掲載しています。

広報委員強化中！！

職員が広報に関する外部研修を受けた事から始まった、「広報強化期間」。やり取りのしやすさやアットホームな空間のため、打合せの部屋も小さくし、よりハトホームらしい広報誌を目指しています。

敬老の日

家族会の方々にお手伝いいただき、九月十六日に敬老行事を行いました。

昼食は御祝い御膳。皆さん、普段より早いペースで召し上がられ「とってもおいしい」と大好評でした。

『普段は、豪華でなかなか食べられない松茸やうなぎでお祝いをしてほしい』

献立を考えた管理栄養士松川さんの思いのこもったお祝い御膳。皆さんに喜んでいただけたようです。

＊御祝い御膳メニュー＊

松茸ご飯　すまし汁　酢の物

うなぎの蒲焼　根菜の煮物

生鮭の蒸し焼き　ごま豆腐

午後は、昨年に引き続き大好評を博した久米川連さんにお越しいただきました。

阿波踊りの華やかな踊りを真似て手を動かす方、お囃子に合いの手を入れる方。車いすの上で沢山の笑顔がはじけていました。

迫力のある太鼓の音が印象深かったのか、翌日の入浴中「昨日の太鼓がすごかったね」「びっくりするくらい大きい音がしたね」と話題になり、会話が弾みました。

応援協定合同訓練

火災等の災害に備える仕組みの一つに「近隣施設や自治体との応援協定」があります。災害が起こった際、いち早く駆け付け支援する仕組みで、年に一度、協定内容の確認、訓練を行います。

過日、ハトホームを災害施設に想定した訓練を行い、近隣の施設の方と力を合わせ、消火活動や避難活動を行いました。

実際に行うと、想定外の事も多くあり、改めて「イメージと異なる状況下で瞬時に判断し適切に行動する」ことは簡単ではないと感じました。日頃から、基礎的な動きをしっかりと押さえ、様々な状況を想定した訓練の実施に尽力したいです。

自衛消防訓練効果確認

月に一回実施している「自衛消防訓練」の成果を消防署に確認してもらう機会が年に一回あります。この自衛消防訓練効果確認は、消防署からの表彰もあり、なんと、二年連続でハトホームが最優秀賞を受賞しています！

事前に、消防隊員の方より、自衛消防に関するポイントを教わる時間もあり、理解を深めるにはうってつけの機会です。

今年も、ハトホームに入ってまだ日の浅い職員が、最優秀賞を目指し、特訓をしています。

結果はいかほどに！？

次回号で報告しようと思っています。

結果が良ければ…（笑）

←北館ペア

隊員と隊長のペアによる初期消火、避難活動の一連の流れを行います。

南館ペア→

新人職員ペアです。自分たちのフロア以外の構造も、覚えるいい機会です。

村山苑が参加している、社会福祉法人東京都社会福祉協議会・東京都高齢者福祉施設協議会主催の「つながれひろがれちいきの輪inTOKYO」の活動として、十月三十日（火）にハトホーム交流サロン「暮らしの相談室」を開催いたしました。

昨年同様、脳活性化プログラム体験・介護なんでも相談の他、希望者には施設給食や調理員手作りのスイーツを味わっていただきました。

参加された地域の方から、「近くに住んでいるのに初めて入った」「お食事がとても美味しかった」との感想を聞かせていただきました。

今後、「つながれ　ひろがれ…」の活動にとどまらず、地域の方に足を運んでいただけるような企画をご案内できればと思います。

お年寄り作品展に向けて（制作の様子と意気込み）

2F 書道クラブ

最初は苦手だったけど、続けていたらお習字が好きになりました

いつもお習字を楽しみにしています

幼い頃、お父さんと一緒にお習字を書いた事を思い出しながら書きました。

普段はあまり動かない方も、お手本を見ながら、ご自分のペースで書いていました。

3F 書道クラブ

左手が利かないので文鎮を使って書きました

美しい夕暮れを思い出して書きました

お習字が大好きだからこれからも続けます

独りで書くのが難しい方は、クラブの先生と一緒に一生懸命書いていました。

お年寄り手作り作品展（東村山市中央公民館）

皆で頑張って書きました

作品展に出るのが嬉しいです

来年は、お習字の他に、編み物も出品したいです

嬉しそうに自分達の作品や、他の施設の方の作品を見て回っていました。
会場を歩き回っても疲れないほど楽しまれたようです。